



写真は横浜里山ガーデン(須山正さん撮影)

■ 参院選に向けて 副会長 飯田耕治郎

現在、JAM神奈川シニアクラブでは今年実施される参議院議員選挙に向けて「郡山りょう」を当選させるべく頑張っています。今回こそは絶対に組織内議員を誕生させるという意気込みでJAM神奈川現役の皆さんとともに力を合わせて活動を進めています。



「津田弥太郎」氏以来、JAMは国政の場に私たちの代表を送ることができていません。なんとかしてこの夏の参院選では組織内候補を当選させるべく皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 大阪万博が始まりました。

4月13日(日)から大阪国際博覧会が始まっています。当初予算を大幅に超え、パビリオンの工事も間に合わないなどと問題を抱えての開幕でした。

行列の待ち時間ゼロを目指すといわれていたのに実際には長蛇の列ができていたり、会場内はキャッシュレスというのも来場者には戸惑いがあったようです。それでも23日には来場者100万人を超えたとのこと、これからの半年間、無事に進められていくことを願っています。

◆ 世界情勢

昨今の世界情勢を見ますと、相変わらずトランプ大統領に世界が翻弄されています。世界の国別に高額な関税を課すと発表したと思ったら、その舌の根も乾かないうちに、実施には90日間留保するとの発表が続き、世界は困惑しています。

ロシアとウクライナ戦争も、大統領就任前には24時間以内に解決すると言っていましたが、いまだ収束のめども立っていません。イスラエルのガザ地区への攻撃もいつ終わるのでしょうか。一日も早く世界に平和が訪れることを願うばかりです。

◆ 国内情勢

国内では毎日物価高騰のニュースが流れています。特に、コメの価格上昇は目を覆いたくなるほどです。価格対策としての政府の備蓄米放出も多くの人にとってその効果を感じることはありません。

先日、連合の芳野会長は石破総理大臣との“政労会談”を行いました。

ロシアのウクライナ侵攻以来、エネルギー価格の上昇に始まり世界中で諸物価高騰が進む中、トランプ大統領の関税問題が加わって更なる物価高騰を招かぬよう対処の要望を提示しています。

今年の賃上げ交渉も昨年同様それなりの成果を得ていながら、このような急速な物価上昇に追いつかないようでは、今年の施政方針演説で石破総理が述べた「楽しい日本」にはなりません。

政策実現で日々の生活が安定し楽しく毎日が過ごせるよう、私たちが支持する政党に頑張ってもらうべく皆で応援しましょう。

2月にJAM主催の「価格転嫁まったなし院内集会」が開催されました。冒頭のJAM会長の挨拶部分だけでも結構ですのでご覧ください。 <https://youtu.be/RvboWs6QJmw>

■ Online 会合報告 (2025. 04. 22)

今月29～30日に新潟方面への旅行を企画していますが、今回はその事前学習として新潟県



内を流れる信濃川流域に存在する縄文遺跡から発掘されている特徴的な土器を中心に学ぶことにしました。縄文土器には一般に縄目模様があるものを想像しますがそれには縄目模様がなく複雑な形状の飾りがついており、この地域における独特の土器で多くが国宝に指定されているものです。

会合報告は <http://jvc-senior.com/20250422online.pdf> 参照

■ 続・続・続 トランプワールド

4月にトランプ大統領の“関税爆弾”が投げられました。世界は一斉に身構えましたが、この爆弾の破裂までには90日の猶予が与えられて、各国が米国と交渉の場を持とうという動き入っています。

日本はその第一バッターとなって1回目の話し合いが4月17日にワシントンで開催されました。

そこにはトランプ大統領も出席して日本側特使赤沢大臣と直接話し合っています。

帰国後の赤沢大臣の「自分は格下も格下」発言には批判的な意見も出ていますが、一方で「それでよかった」と評価する意見もあります。

「対トランプ10か条」なるものがあります。プーチン氏の側近がまとめたといわれるものです。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/436393adcd1e88cdd84d910b3b4f0f7a31b112d>

この中には「常に彼に感謝しなさい、『やりすぎ』はない」「彼は高貴に映りたがっている」「彼の間違いを指摘しない」「感情的にならない」などといった項目が述べられています。

2月28日、ゼレンスキー大統領がホワイトハウスでトランプ大統領と会見した時のことを思い出してみると、まさにその通りと思えるような内容です。ロシアはいかにして自分に有利な交渉が進められるか相手を十分に研究しているようです。

今回の赤沢大臣の発言もこれに則てみると妥当なものだったかもしれません。

ここきて、トランプ氏の関税爆弾の影響があまりにも強すぎてアメリカ国内へのブーメランもあり、若干彼のトーンは下がったかのように見られますが、相変わらず「世界はアメリカを必要としている」ごとき発言が繰り返されています。これにどう交わしていくか、今後の交渉に注目しましょう。

■ 物価高騰対策は一時金 or 減税

4月に総務省から発表された消費者物価指数では2020年を100とすると今年3月時点で総合指数111.1となっています。5年で1割程度上昇しただけ？ 家計に直結する食料品の値上がりを見るに、生活実感としてはこんな程度のものではないように思えるのですが、皆さんはどう感じられるでしょうか。以下はその発表資料ですが数字ばかりが羅列されているのであくまで参考としてください。

<https://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/pdf/zenkoku.pdf>

このような物価上昇の中で政府内部では、給付金を支給する案があったようでしたが、「夏の選挙に向けてのばらまきか！！」との反対意見もあり、これは否定されています。

代わって、与党内の一部や野党から「減税」という意見が出ていますが、報道などによれば世論の多くも「一時金より減税」となっているようです。

4月23日の石破総理と国民民主党玉木代表との党首討論で、玉木代表はガソリン税の引き下げを強く訴えていました。総理の答弁は「10円引き下げ」で、補助金政策を変えようとはしていません。減税には財務省の高いハードルがあるのでしょう。

■ パパ大谷翔平

ドジャース大谷選手が「父親リストに登録されて試合を欠場！」とのニュースがありました。これが産休とのこと。しかし、それは3日間で終わりすぐにグラウンドに戻ってきました。さすがにドジャースのみならずMLBの花形選手として、妻子のそばでゆっくりすることができなかったのでしょうか。

4月20日のニュースで元気な女の子が生まれたと伝えられ、大谷選手のInstagramには生まれたばかりの赤ちゃんの微笑ましい足裏の写真が公開されました。



産休明けの球場では スタンドから「パパ翔平」のカードを広げた観客の祝福を受けていました。

パパ・ママともに高身長のアスリートで赤ちゃんの足のサイズも大きいように見えます。将来はどんなスポーツに取り組むのでしょうか。

■ 事務局から

JAMが参院選に向けて支援する「郡山りょう」氏に皆様からの支援をよろしくお願いします。本人プロフィールや政策は次をご確認ください。

<https://www.ryo-koriyama.jp/>

